

エコアクション21

環境活動レポート



平成 22 年 9 月 25 日

・・・環境問題を皆で理解し広めよう・・・

不二高圧株式会社

環境活動レポート

平成21年度（2009/7-2010/6）

目 次

環境方針	1
事業の概要・実施体制	2
環境経営システムの組織図	4
中長期環境目標	5
短期環境目標と実績・評価	6
環境活動の取組計画	10
具体的な環境活動計画 環境活動の取組結果と評価	11
次期 中長期環境目標	18
次期 環境活動の取組計画	22
環境関連法規に係る遵守及び違反、訴訟等の状況	23
代表者による評価と見直し	24

【環 境 方 針】

「基本理念」

当社は、高圧ガスの容器及び施設の検査、並びに高圧ガス設備工事を事業とし、正しく信頼ある技術で保安を確保することを使命とし、活動において循環型社会の構築に参加し、環境保全に積極的に取り組み、二酸化炭素排出量の削減・廃棄物排出量の削減・排水量の削減に努力し、化学物質の適正管理に取り組み、自然環境への負荷低減を目標とした環境配慮型経営を目指す。

「行動指針」

環境経営システムの運用にあたり、主要事項を次のとおり示す。

- 1) 高圧ガスの容器及び施設の検査業務、並びに設備工事業務において、高圧ガスの保安を確保すると共に「省資源、省エネルギー、リデュース、リユース、リサイクル」を実行、並びに化学物質等の適正管理を図る。
- 2) 関連法規及び地域の条例を遵守し、環境問題及び取り組み方法等について、全社員に教育訓練を行い周知徹底する。
- 3) 業務活動で必要な資機材は「グリーン購入法」を優先して選択購入する。
- 4) 行政、地域及び利害関係者等との交流を深め、情報交換、協力活動、その他取り組みの拡大に務める。
- 5) 環境活動レポートは公開し、クレーム及び緊急時に備えて対応処置の確立と方法について訓練を行う。

制定年月日 平成19年 7月25日

改定年月日 平成21年 8月 1日

改定年月日 平成22年10月 1日

不二高圧株式会社

代表取締役社長 新 井 二 郎

【事業の概要・実施体制】

1. 事業所名及び代表者名

- ・社名 不二高压株式会社
- ・代表者 代表取締役 会長 松浦 紀久郎
代表取締役 社長 新井 二郎

2. 事業所所在地

〒421-0218 静岡県焼津市下江留437番地の16
TEL・054-622-1120(代) FAX・054-622-3487

3. 環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

- ・環境管理責任者 松浦 紀久郎
- ・環境事務局責任者 松浦 紀久郎(兼務)・受付事務担当者 石田 文子
連絡先 TEL・054-622-1120(代)
FAX・054-622-3487
<http://www.zz-fujikoatsu.co.jp/>
E-mail・zz-jj@po4.across.or.jp

4. 事業の内容

- ・「容器検査部」 高压ガス容器の再検査
液化石油ガス・タンクローリ用容器の法定再検査の施行。
- ・「工事部」 高压ガス設備の点検・設計・施工
高压ガス設備の法定検査、(貯槽、配管、機械精密検査) 定期点検の施行。
事業所の保安検査、設備の修理、管工事業、機械設置工事業の施行。

※ 実際の土木・建設工事は、ほとんど外注のため、建設業向けマニュアルを参考にしながら、
一般用マニュアルで対応する事とする。

- ・「事務所」 事務処理、書類作成

5. 事業の規模

- ・法人設立 昭和45年 7月23日(創立 昭和40年1月)
- ・資本金 1,000万円
- ・決算期 期首 7月1日 期末 6月30日
- ・従業員 38人
- ・敷地面積 14,321㎡
- ・床面積 容器検査工場 900.49㎡・タンクローリ検査工場 440.15㎡・
倉庫 153㎡・事務所 335.24㎡・休憩室 105㎡・

6. 活 動 規 模

① 売 上 期首 7月1日 期末 6月30日 単位 百万円

項 目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
総 売 上 高	635	722	774	606
容器検査部	198	167	234	283
工 事 部	437	555	540	323

② 設備等の状況

・「容器検査部」

定置検査設備一式 (残ガス回収、耐圧検査、塗装他) 小型 350 本/日
車 両 (台) 7t 車 1・ 4t 車 2・ 3t 車 1・ 営業車 2・ リフト 1

・「工事部」

移動検査機器一式 (非破壊検査機器他 KHK 基準検査設備) 3 セット
設計施工関係 (キャド等ソフト機器、資材加工機器) 1 式
車 両 (台) 検査専用バン 4・ 営業車 2 (ガソリン車)

・「事務所」

パソコン 14 台 プリンター 8 台 コピー機 3 台
車 両 (台) 営業車 2 (LPG 車)

7. 資 格 (許認可・登録)

・「容器検査部」

容器検査所の登録 : 静岡県 平・18・10・1 防消防第 44 号の 5
(50,000・以下の液石及び液化天然ガス溶接容器で、T P 5 Mpa 以下)
高压ガス製造許可: 静岡県 昭・56・1・16 消第 88-10 号
液化石油ガスタンクローリ検査事業者認定 (高压ガス保安協会 K T-3)

・「工事部」

液化石油ガスプラント検査事業者認定 (高压ガス保安協会 K P-18)
指定保安検査機関の指定: (経済産業省) 平成 18.01.27 原第 21 号)
指定保安検査機関の業務規定認可 (経済産業省) 平成 18.01.30 原第 2 号)
建設業の許可(管、機械設置工事) 静岡県般一17 第 9549 号平 17 年 11 月

＊ 実際の土木・建設工事は、ほとんど外注のため、建設業向けマニュアルを参考にしながら、一般用マニュアルで対応する事とする。

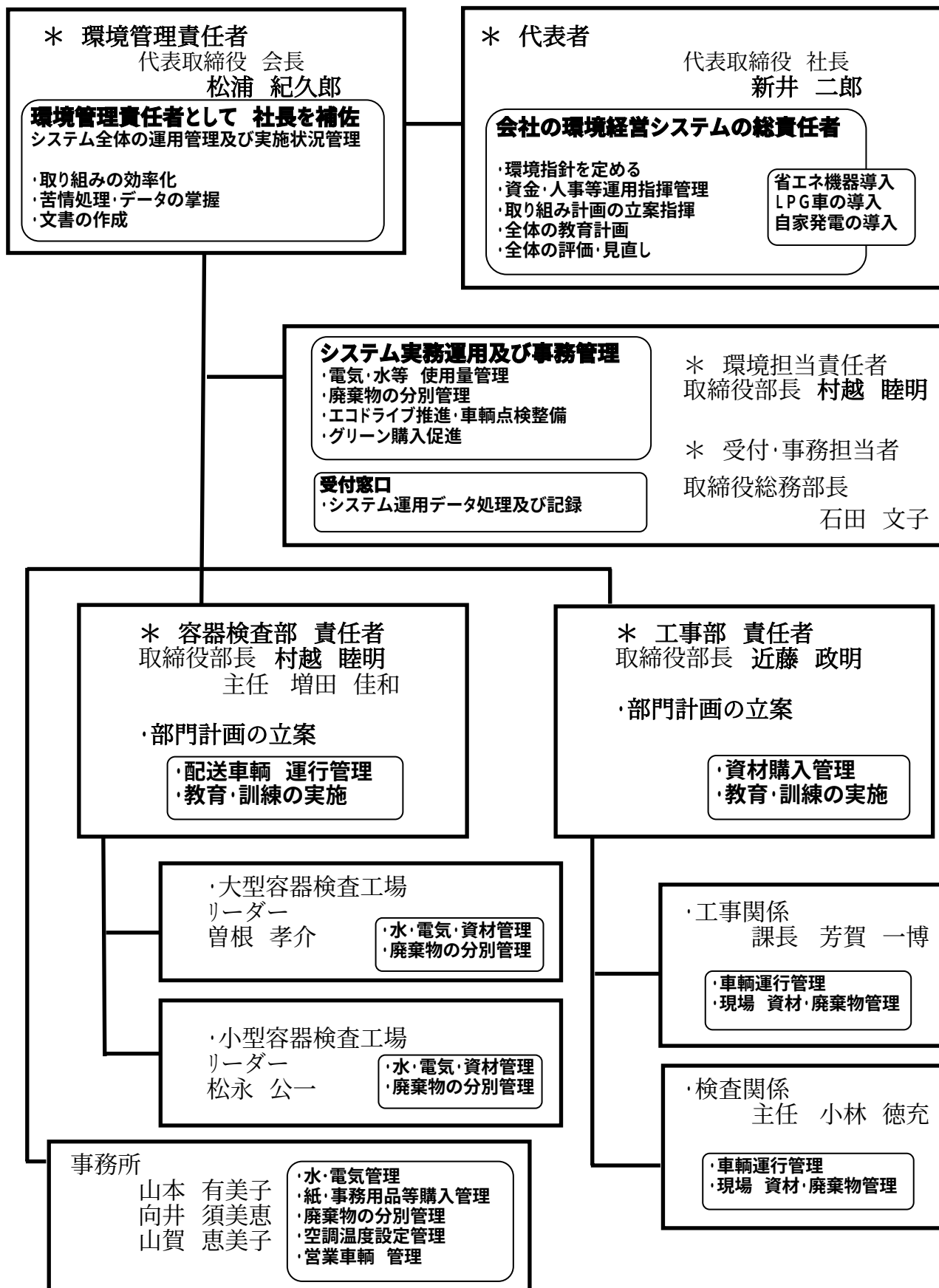
特定液化石油ガス設備工事業開始届け: 昭・60・2・15 静岡県 1427
産業廃棄物収集運搬業許可 第 143883 号 (静岡県・静岡市・浜松市)
(21 年度 実績なし)

・「環境関係」

エコアクション 21 認証・登録番号 0002362

8 . 環境経営システムの組織図

実施体制



【中・長期環境目標】

総 合

(容器検査部・工事部・事務所)

平成19年度(H19/7～H20/6)～平成21年度

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
二酸化炭素排出量		599,365.3	569,397.0	563,403.4	557,409.7
kg－CO ₂ %		100.0	95.0	94.0	93.0
購入電力 0.378(kg-CO ₂ /kWh)	消費量 kwh	144,191.0	136,981.5	135,539.5	134,097.6
	%	100.0	95.0	94.0	93.0
	排出量	54,504.2	51,779.0	51,233.9	50,688.9
%		100.0	95.0	94.0	93.0
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg	1,054.7	2,003.9	1,993.4	1,982.8
	%	100.0	190.0	189.0	188.0
	排出量	3,166.2	601,572.3	598,406.1	595,240.0
%		100.0	190.0	189.0	188.0
ガソリン	消費量 L	10,329.4	9,296.5	9,193.2	9,089.9
	%	100.0	90.0	89.0	88.0
	排出量	23,981.4	21,583.3	21,343.4	21,103.6
%		100.0	90.0	89.0	88.0
軽油	消費量 L	33,909.2	32,213.7	31,874.6	31,535.6
	%	100.0	95.0	94.0	93.0
	排出量	88,989.3	84,539.8	83,649.9	82,760.0
%		100.0	95.0	94.0	93.0
残ガス燃烧	燃烧量 kg	98,800.0	88,920.0	83,980.0	79,040.0
	%	100.0	90.0	85.0	80.0
	排出量	296,593.6	266,934.2	252,104.6	237,274.9
%		100.0	90.0	85.0	80.0

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成18年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
単純焼却 廃棄物	t	4.74	4.50	4.46	4.41
	%	100.0	95.0	94.0	93.0
最終処分 廃棄物	t	10.71	10.17	10.07	9.46
	%	100.0	95.0	94.0	93.0

③ 給水使用量 (目標設定は平成18年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
上水使用量	m ³	659.0	626.05	619.46	612.87
	%	100.0	95.0	94.0	93.0
地下水使用量	m ³	6,866.0	6,522.70	6,454.04	6,385.38
	%	100.0	95.0	94.0	93.0

【中・長期環境目標】

容器検査部

平成19年度 (H19/7～H20/6) ～平成21年度

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
二酸化炭素排出量		420,072.0	399,068.4	394,867.7	390,667.0
kg-CO ₂ %		100.0	95.0	94.0	93.0
購入電力	消費量 kwh	142,425.5	135,304.2	133,880.0	132,455.7
	%	100.0	95.0	94.0	93.0
0.378(kg-CO ₂ /kWh)	排出量	53,836.8	51,145.0	50,606.6	50,068.2
	%	100.0	95.0	94.0	93.0
軽油	消費量 L	19,694.0	18,709.3	18,512.4	18,315.4
	%	100.0	95.0	94.0	93.0
	排出量	51,683.6	49,099.4	48,582.6	48,065.7
	%	100.0	95.0	94.0	93.0
残ガス燃焼	燃焼量 kg	98,800.0	88,920.0	83,980.0	79,040.0
	%	100.0	90.0	85.0	80.0
	排出量	296,593.6	266,934.2	252,104.6	237,274.9
	%	100.0	90.0	85.0	80.0

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成18年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
単純焼却	t	4.20	3.99	3.95	3.91
	%	100.0	95.0	94.0	93.0
最終処分	t	9.66	9.18	9.08	8.53
	%	100.0	95.0	94.0	93.0

③ 総水使用量 (目標設定は平成18年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
地下水使用量	m ³	6,866.0	6,522.70	6,454.04	6,385.38
	%	100.0	95.0	94.0	93.0

【中・長期環境目標】

工事部 (社外作業)

平成19年度 (H19/7～H20/6) ～平成21年度

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
二酸化炭素排出量 kg-CO2 %		56,539.4 100.0	53,712.4 95.0	53,147.0 94.0	52,581.6 93.0
ガソリン	消費量 L %	8,132.0 100.0	7,318.8 90.0	7,237.5 89.0	7,156.2 88.0
	排出量 %	18,879.8 100.0	16,991.8 90.0	16,803.0 89.0	16,614.2 88.0
軽油	消費量 L %	14,215.3 100.0	13,504.5 95.0	13,362.4 94.0	13,220.2 93.0
	排出量 %	37,305.7 100.0	35,440.4 95.0	35,067.4 94.0	34,694.3 93.0

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成18年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
単純焼却 廃棄物	t %	0.00 100.0	0.00 95.0	0.00 94.0	0.00 93.0
最終処分 廃棄物	t %	1.05 100.0	1.00 95.0	0.99 94.0	0.93 93.0

【中・長期環境目標】

事務所

平成19年度 (H19/7～H20/6) ～平成21年度

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
二酸化炭素排出量		122,317.2	116,201.3	114,978.2	113,755.0
kg-CO ₂ %		100.0	95.0	94.0	93.0
購入電力	消費量 kwh	1,765.5	1,677.2	1,659.6	1,641.9
	%	100.0	95.0	94.0	93.0
	排出量	667.4	634.0	627.4	620.7
0.378(kg-CO ₂ /kWh) %		100.0	95.0	94.0	93.0
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg	909.2	1,727.5	1,718.4	1,709.3
	%	100.0	190.0	189.0	188.0
	排出量	2,729.4	518,586.0	515,856.6	513,127.2
%		100.0	190.0	189.0	188.0

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成18年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
単純焼却 廃棄物	t	0.54	0.51	0.51	0.50
	%	100.0	95.0	94.0	93.0

③ 総水使用量 (目標設定は平成18年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
上水使用量	m ³	659.0	626.05	619.46	612.87
	%	100.0	95.0	94.0	93.0

【短期環境目標と実績・評価】

平成21年度

総合

(容器検査部・工事部・事務所)

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成21年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
二酸化炭素排出量		599,365.3	557,409.7	556,380.4	○
kg-CO ₂ %		100.0	93.0	92.8	
購入電力 0.378(kg-CO ₂ /kWh)	消費量 kwh	144,191.0	134,097.6	188,262.0	×
	%	100.0	93.0	130.6	
	排出量	54,504.2	50,688.9	71,163.0	
%		100.0	93.0	130.6	
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg	1,054.7	1,982.8	2,021.8	×
	%	100.0	188.0	191.7	
	排出量	3,166.2	5,952.5	6,069.3	
%		100.0	188.0	191.7	
ガソリン	消費量 L	10,329.4	9,089.9	7,551.9	○
	%	100.0	88.0	73.1	
	排出量	23,981.4	21,103.6	17,532.9	
%		100.0	88.0	73.1	
軽油	消費量 L	33,909.2	31,535.6	38,805.6	×
	%	100.0	93.0	114.4	
	排出量	88,989.3	82,760.0	101,839.1	
%		100.0	93.0	114.4	
残ガス燃焼	燃焼量 kg	98,800.0	79,040.0	78,080.0	○
	%	100.0	80.0	79.0	
	排出量	296,593.6	237,274.9	234,393.0	
%		100.0	80.0	79.0	

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成21年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
単純焼却 廃棄物	t	4.74	4.4	9.14	×
	%	100.0	93.0	192.8	
最終処分 廃棄物	t	10.71	9.96	29.64	×
	%	100.0	93.0	276.7	

* 単純焼却の廃棄物には、工場から出る塗料カス(産廃)を含む。

③ 総水使用量 (目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成21年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
上水使用量	m ³	695.0	646.4	659.6	×
	%	100.0	93.0	94.9	
地下水使用量	m ³	6,866.0	6,385.4	12,364.0	×
	%	100.0	93.0	180.1	

【短期環境目標と実績・評価】

平成21年度

容器検査部

① 二酸化炭素排出量（目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成18年度 実績	平成21年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
二酸化炭素排出量 kg－CO2 %		420,072.0 100.0	390,666.9 93.0	445,592.0 106.1	×
購入電力 0.378(kg-CO ₂ /kWh)	消費量 kwh %	142,425.5 100.0	132,455.7 93.0	186,493.0 130.9	×
	排出量 %	53,836.8 100.0	50,068.2 93.0	70,494.4 130.9	
軽油	消費量 L %	19,694.0 100.0	93.0 93.0	22,218.0 112.8	×
	排出量 %	51,683.6 100.0	48,065.7 93.0	58,307.5 112.8	
残ガス燃焼	燃焼量 kg %	98,800.0 100.0	79,040.0 80.0	78,080.0 79.0	○
	排出量 %	296,593.6 100.0	237,274.9 80.0	234,393.0 79.0	

	評価	【コメント】
二酸化炭素排出量	×	容器再検査本数の増加による。 18年度43,960本 21年度63,855本
購入電力	×	工場稼働時間の増加、特に12月～3月の残業時間の増加による。
軽油	×	検査本数の増加と、短期納品のための配送業務の増加により、配送車の走行機会が増加し、軽油の使用量が増加したものとする。
残ガス燃焼	○	再検査依頼先の残ガス単価の高騰により、再検査容器内の残ガス量が減少し、残ガス燃焼も少なくなったものとする。

② 廃棄物排出量（目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成18年度 実績	平成21年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
単純焼却 廃棄物	t	4.20	3.91	6.55	×
	%	100.0	93.0	156.0	
最終処分 廃棄物	t	9.66	8.98	29.11	×
	%	100.0	93.0	301.4	

* 単純焼却の廃棄物は、工場から出る塗料カス（産廃）

	評価	【コメント】
単純焼却 廃棄物	×	21年9月に 工場設備を、溶液塗装から粉体塗装へ切り替え、工事のため多量の塗料カスが発生したものとする。粉体塗装では塗料カスの発生はない。
最終処分 廃棄物	×	分別収集は進んでいるが、工場の稼働増と、設備工事の結果、一時的に廃棄物が増加したものとする。

③ 総水使用量（目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成18年度 実績	平成21年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
地下水使用量	m ³	6,866.0	6,385.4	12,364.0	×
	%	100.0	93.0	180.1	

	評価	【コメント】
地下水使用量	×	容器再検査本数の増加による。 18年度43,960本 21年度63,855本

【短期環境目標と実績・評価】

平成21年度

工事部 (社外作業)

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成21年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
二酸化炭素排出量 kg－CO2 %		56,539.4 100.0	52,581.6 93.0	56,237.4 99.5	×
ガソリン	消費量 L %	8,132.0 100.0	7,156.2 88.0	5,455.6 67.1	○
	排出量 %	18,879.8 100.0	16,614.2 88.0	12,666.0 67.1	
軽油	消費量 L %	14,215.3 100.0	13,220.2 93.0	16,587.6 116.7	×
	排出量 %	37,305.7 100.0	34,694.3 93.0	43,531.6 116.7	

	評価	【コメント】
二酸化炭素排出量	×	工事部使用車輛のメインである、軽油車輛の排出量の削減が出来ていません。今後は、車輛更新時は、まずハードとして、低燃費・低排出車の購入を考えていきます。
ガソリン	○	ガソリン車の購入条件として、低燃費車輛を選択した結果が出てきています。
軽油	×	目標は達成出来ませんでした。20年度実績に比べると、若干削減できました。 20年度実績 消費16617.3L 排出量43609.4

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成21年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
最終処分 廃棄物	t %	1.05 100.0	0.98 93.0	2.06 196.0	×

	評価	【コメント】
最終処分 廃棄物	×	LPガスより天然ガスへの転換に伴う、既存設備の撤去及びくず化工事が増加し、それに伴い最終処分の廃棄物が増加しています。

【短期環境目標と実績・評価】

平成21年度
事務所

① 二酸化炭素排出量（目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成18年度 実績	平成21年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
二酸化炭素排出量 kg-CO ₂ %		122,317.2 100.0	113,755.0 93.0	54,551.0 44.6	○
購入電力 0.378(kg-CO ₂ /kWh)	消費量 kwh %	1,765.5 100.0	1,641.9 93.0	1,769.0 100.2	×
	排出量 %	667.4 100.0	620.7 93.0	668.7 100.2	
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg %	909.2 100.0	1,709.3 188.0	2,021.8 222.4	×
	排出量 %	2,729.4 100.0	5,131.3 188.0	6,069.3 222.4	

	評価	【コメント】
二酸化炭素排出量	○	残ガス利用の発電にかかる数値を容器検査部に移動(実際に工場内の電力として使用)した為、減少しました。(18年度は事務所の排出量の63.32%を占めていました。)
購入電力	×	仕事量の増加により残業時の電気使用量が増加したため。パソコン及びコピー機の台数の増加したため、電気の使用量が増加したと考えます。
液化石油ガス LPG車両用	×	18年度 1台から 20年度は 2台に増加し、営業範囲も 県外へ広がった為、走行距離が増し、使用量も増加したものと思われます。エコ運転の実施に努めたい。20年度から比較すると、20%ほど減少しました。

② 廃棄物排出量（目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成18年度 実績	平成21年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
単純焼却 廃棄物	t %	0.54 100.0	0.50 93.0	1.00 185.2	×

	評価	【コメント】
単純焼却 廃棄物	×	工場内の焼却炉の使用を中止し、専門業者に回収処理を委託しています。その結果、安易に廃棄していたかも知れません。リサイクル出来るものの分別に勤めたいです。

③ 総水使用量（目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成18年度 実績	平成21年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
上水使用量	m ³ %	695.0 100.0	646.4 93.0	329.8 47.5	○

	評価	【コメント】
上水使用量	○	節水に努めた結果と思われます。漏水もなくなり、昨年比でも半減しました。

【 環境活動の取組計画 】

平成 21 年度 (2009/7-2010/6)

容器検査部

取 組 項 目			取 組 計 画												
①	電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	＊ 照明灯管理	工場	鈴木												
			松永												
	＊ 圧縮機の運転	工場	松永 ・ 鈴木	担当者 打ち合わせ											
	担当者 打ち合わせ														
	機械 入替え														
	担当者 打ち合わせ														
	＊ 搬送コンベアー														
	＊ ショットブラスト														
	＊ 真空ポンプ														
化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
＊ 運転計画の合理化	配送	村越	車両別集計												
＊ エコ運転の実施 ・過積載禁止	配送	村越	車両別集計												
	通勤時	村越	通勤経路 確認		安全運転コンクール				安全運転コンクール						
＊ 車輛整備		村越													
②	廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	＊ 排出量の削減	工場	松永		分別ポスター掲示										
	＊ 生産資材の節約	工場	松永					在庫確認						在庫確認	
	リサイクルの推進		松永		分別ポスター掲示										
	廃棄物処理の確認		村越		分別ポスター掲示										
③	総排水量の削減	工場	鈴木												
④	化学物質の適正管理	工場	松永												
⑤	グリーン購入品目の活用		松永		検討										

工事部（社外作業）

取 組 項 目			取 組 計 画													
①	電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	＊ 照明 電動機・電動工具	工事部	芳賀													
			小林													
	化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	＊ 運転計画の合理化	工事部	近藤	車両別集計												
	＊ エコ運転の実施 ・アイドリング抑制	工事部	芳賀													
			小林													
	＊ 車輛整備	工事部	芳賀													
	②	廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
		＊ 排出量の削減	工事部	芳賀		分別ポスター掲示										
小林					分別ポスター掲示											
＊ 生産資材の節約		工事部	近藤				合同購入の検討		在庫確認						在庫確認	
リサイクルの推進		芳賀		分別ポスター掲示												
廃棄物処理の確認		近藤		分別ポスター掲示												
③	総排水量の削減	工事部	芳賀													
④	化学物質の適正管理	工事部	近藤													
⑤	グリーン購入品目の活用		近藤		検討											

事務所

取 組 項 目			取 組 計 画												
①	電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 空調 温度設定	事務所	向井	25度に設定・管理					21度に設定・管理						
	* 照明 (テレビ)	休憩室	鈴木	25度に設定・管理					21度に設定・管理						
		喫煙室	増田	25度に設定・管理					21度に設定・管理						
	化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* エコ運転の実施 ・アイドリング抑制	事務 通勤時	石田 村越	車両別集計 通勤経路 確認								安全運転コンクール			
②	廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 排出量の削減	事務所	向井	分別ポスター掲示											
	* 生産資材の節約	事務所	向井	エコ文具 検討					在庫確認					在庫確認	
	リサイクルの推進		山賀	分別ポスター掲示											
	廃棄物処理の確認		石田	分別ポスター掲示											
③	総排水量の削減		佐野	漏水点検				チェックシール掲示							
⑤	グリーン購入品目の活用		向井	エコ文具 検討											

【環境活動の取組結果の評価】

平成 21 年度

2009/7-2010/6

評価 担当者	松浦 紀久郎
評価 年月日	平成 22 年 9 月 24 日

総 合

平成21年7月～平成22年6月

取 組 項 目		評 価		
		達成状況	問題点	是正・予防処置
①	電気使用量の削減	×	工場の稼働時間(検査本数)により、大幅に左右される。	省エネ型の機器・照明器具への転換を推進します。
	化石エネルギーの削減	×		配送車の管理の徹底。エコ運転の徹底。残ガスの有効利用の検討
②	廃棄物の抑制	×	撤去工事の増加による	リサイクル出来る資源の、分別の徹底。
	リサイクルの推進	○		リサイクル出来る資源の、分別の徹底。
	廃棄物処理の確認	○		リサイクル出来る資源の、分別の徹底。単純焼却の削減
③	総排水量の削減	×	工場の稼働時間(検査本数)により、大幅に左右される。	非水筒式の耐圧設備導入の検討(2011年度)。漏水のチェック
④	化学物質の適正管理	○		適正管理に努める
⑤	グリーン購入品目の活用	○		カタログで 必ずチェック

総 評

1. 取り組み全体

組織・体制の変化がなく、取組の意識・姿勢共に低下は見られない。

結果として、達成率が良くないことに視点を向ける必要がある。

2. 達成状況の視点(仕事の増減の減少を別として)

① 電気使用量の削減・節電の方法を見直す必要がある。

イ) 機械・装置等の使用方法・生産量に合わせ細かくコントロールして使う。

ロ) 照明(特に工場の水銀灯)・・・作業場に合わせた点灯を検討し、節電を計る。

作業場毎に必要な照度をチェックし、無駄な点灯を無くす。

② 化石エネルギー削減(特に車輛燃料)

イ) 容器検査部の集配送システムを、集配量に合わせた計画に見直す必要がある。

ロ) 工事部を含め、合理化とエコ運転の両立した運営を検討したい。

③ 廃棄物の抑制 決まりが守れている。

④ 総排水量の削減 単位あたりの使用量削減に努力する。

イ) 使用水の循環(再利用)設備の導入を考える。

【具体的な環境活動計画】

容器検査部

責任者

① 「二酸化炭素排出の削減」

電気の使用量削減

- ＊ 不要電力のカット 工場・倉庫
照明・換気扇・電動機・電道工具・外灯の全電源
- ＊ 省エネルギー
省エネ機器の購入・自家発電

松永公一、鈴木千秋

村越睦明、松永公一

燃料の使用量削減

- ＊ エコドライブの周知徹底と実行
- ＊ 車両の効率的運行及び車両整備
- ＊ 消費燃料の状況把握

村越睦明

村越睦明、増田佳和

石田文子

② 「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

- ① 残資材、缶、瓶、紙の分別の徹底
- ② マニフェスト管理

松永公一、鈴木千秋

村越睦明

③ 「水の使用量削減」

- ＊ 節水 (検査用水・洗車用水)
- ＊ 水漏れチェック
- ＊ 雨水の利用・検査用水のリサイクル

鈴木千秋

増田佳和

松永公一、鈴木千秋

④ 「化学物質の適正管理」 (塗料・シンナー)

松永公一、鈴木千秋

⑤ 「グリーン購入法商品の優先的活用」

松永公一、鈴木千秋



＊風力・太陽電池を利用した門燈。



＊休憩室に残ガスを利用したエネファーム設置
(温水・電気)。

【環境活動の取組結果の評価】

平成 21 年度

2009/7-2010/6

評価 担当者	村越 睦明
評価 年月日	平成 22 年 9 月 24 日

容器検査部

平成21年7月～平成22年6月

取 組 項 目		評 価		
		達成状況	問題点	是正・予防処置
①	電気使用量の削減	×	検査本数増加、残業の発生による。	効率的な工場稼働体性の徹底。
	化石エネルギーの削減	×	検査本数増加による。	配送車の管理の徹底。残ガスの有効利用の検討
②	廃棄物の抑制	×	設備改装工事があったため	改修工事により、塗料カス（廃プラ）の削減が見込める。
	リサイクルの推進	○		リサイクル出来る資源の、分別の徹底。
	廃棄物処理の確認	○		リサイクル出来る資源の、分別の徹底。
③	総排水量の削減	×	検査本数増加による。	非水筒式の耐圧設備導入の検討。2011年度
④	化学物質の適正管理	○		適正管理に努める
⑤	グリーン購入品目の活用	○		カタログで 必ずチェック

総 評

平成18年度容器検査本数に比較して本数が増加している中での 稼働実績として見れば、現在まで進めている予防処置を続けることが大切である。

【具体的な環境活動計画】

工事部（社外作業）

① 「二酸化炭素排出の削減」

責任者

電気の使用量削減

- ＊ 不要電力のカット 倉庫・工事現場
- 照明・電動機・電道工具

芳賀一博、小林徳充

燃料の使用量削減

- ＊ エコドライブの周知徹底と実行
- ＊ 車両の効率的運行及び車両整備
- ＊ 消費燃料の状況把握

近藤正明

芳賀一博

石田文子

② 「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

- ＊ 残資材、缶、瓶、紙の分別の徹底
- ＊ マニフェスト管理

芳賀一博、小林徳充

近藤政明

③ 「水の使用量削減」

- ＊ 節水 洗車用水・検査用水

芳賀一博、小林徳充

④ 「化学物質の適正管理」 （塗料・シンナー）

近藤政明

⑤ 「グリーン購入法商品の優先的活用」

近藤政明



倉庫天井を 一部透明化。日中の蛍光灯が不要になり、節電効果大。

【環境活動の取組結果の評価】

平成 21 年度

2009/7-2010/6

評価 担当者	近藤 政明
評価 年月日	平成 22 年 9 月 24 日

工事部 (社外作業)

平成21年7月～平成22年6月

取 組 項 目		評 価		
		達成状況	問題点	是正・予防処置
①	電気使用量の削減		社外作業のため、集計なし	常に、節電に努める。
	化石エネルギーの削減	×		LPG車・低燃費車への入替
②	廃棄物の抑制	×	撤去工事の増加による	リサイクル出来る資源の、分別の徹底。
	リサイクルの推進	○		リサイクル出来る資源の、分別の徹底。
	廃棄物処理の確認	○		有害廃棄物の (アスベスト・水銀等) 処分方法の徹底
③	総排水量の削減		社外作業のため、集計なし	常に、節水に努める。
④	化学物質の適正管理	○		適正管理に努める
⑤	グリーン購入品目の活用	○		カタログで 必ずチェック

総 評

化石エネルギーの削減については、ソフト面として工事部会議の中で、アイドリングストップ・エコ運転・相乗り・電車等の使用を呼びかけ、ハード面としては、天然ガス車・LPGガス車及びその他低燃費車へのシフトを検討する。

廃棄物については、ユーザー内での産業廃棄物の処理が難しい状況の中で、量を減らしていくのは困難なため、自社の作業工程における廃棄物の抑制及びリサイクルの推進を進めていく。

【具体的な環境活動計画】

事務所

「二酸化炭素排出の削減」

① 電気の使用量削減

- ＊ 不要電力のカット 事務所 休憩室
照明・換気扇・テレビ等電源管理
空調機フィルター清掃
- ＊ 省エネルギー
冷暖房の室温管理（冬・21℃、夏・25℃）



グリーンカーテン

向井須美恵、山賀恵美子
村越睦明

向井須美恵、山賀恵美子

燃料の使用量削減

- ＊ エコドライブの周知徹底と実行
- ＊ L P G車の導入、バイオ燃料の取り入れ
- ＊ 消費燃料の状況把握

石田文子
新井二郎
石田文子

② 「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

- ① 残資材、缶、瓶、紙の分別の徹底
- ② コピー用紙の両面使用

向井須美恵、山賀恵美子
向井須美恵、山賀恵美子

③ 「水の使用量削減」

- ＊ 節水 （事務所、休憩室、花壇散水）
- ＊ 水漏れチェック
- ＊ 雨水の利用

佐野和子、向井須美恵
村越睦明
松浦紀久郎

⑤ 「グリーン購入法の優先的活用」

事務所での必要資材

向井須美恵、山賀恵美子



*書類(成績書他) B4サイズからA4サイズに縮小。 *針なしホッチキスの導入。 *コピー用紙の包み紙を保管袋として再利用

【環境活動の取組結果の評価】

平成 21 年度

2009/7-2010/6

評価 担当者	石田 文子
評価 年月日	平成 22 年 9 月 24 日

事務所

平成21年7月～平成22年6月

取 組 項 目		評 価		
		達成状況	問題点	是正・予防処置
①	電気使用量の削減	×	残業時間の増加、パソコン・コピー機・携帯電話などの増加	省エネ型の機器・照明器具への転換を推進します。
	化石エネルギーの削減	×	LPG車輛の増車による。	エコ運転の実施。
②	廃棄物の抑制	×		廃棄物の分別と、廃棄物自体の減少を考える。(エコバックでの買い物・包装省略など)
	リサイクルの推進	○		ゴミ箱に捨てる時に、分別徹底
	廃棄物処理の確認	○		単純焼却を減らす。
③	総排水量の削減	○		トイレを節水型に交換予定 2010/10
④	化学物質の適正管理		該当なし	
⑤	グリーン購入品目の活用	○		カタログで 必ずチェック

総 評

電気・水・廃棄物の削減に 更に努めたいと思います。

LED電球の導入・節水タイプのトイレの交換・ゴミの分別の徹底。等

【次期 中・長期環境目標】

総 合

(容器検査部・工事部・事務所)

平成22年度～平成24年度 (2010/7-2013/6)

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
二酸化炭素排出量		556,380.4	528,561.4	500,742.4	472,923.3
kg-CO ₂ %		100.0	95.0	90.0	85.0
購入電力 0.378(kg-CO ₂ /kWh)	消費量 kwh	188,262.0	178,848.9	169,435.8	160,022.7
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	71,163.0	67,604.9	64,046.8	60,488.6
%		100.0	95.0	90.0	85.0
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg	2,021.8	1,920.7	1,819.6	1,718.5
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	6,069.3	5,765.8	5,462.4	5,158.9
%		100.0	95.0	90.0	85.0
ガソリン	消費量 L	7,551.9	7,174.3	6,796.7	6,419.1
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	17,532.9	16,656.3	15,779.6	14,903.0
%		100.0	95.0	90.0	85.0
軽油	消費量 L	38,805.6	36,865.3	34,925.0	32,984.7
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	101,839.1	96,747.1	91,655.1	86,563.2
%		100.0	95.0	90.0	85.0
残ガス燃焼	燃焼量 kg	78,080.0	74,176.0	70,272.0	66,368.0
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	234,393.0	222,673.4	210,953.7	199,234.1
%		100.0	95.0	90.0	85.0

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
単純焼却	t	9.14	4.2	4.0	3.8
	%	100.0	46.1	43.7	41.4
最終処分	t	29.64	10.7	9.9	9.2
	%	100.0	36.0	33.5	31.0

③ 給水使用量 (目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
上水使用量	m ³	659.6	610.1	577.2	544.2
	%	100.0	92.5	87.5	82.5
地下水使用量	m ³	12,364.0	11,127.6	10,509.4	9,891.2
	%	100.0	90.0	85.0	80.0

* 化学物質…数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。

* グリーン購入法…数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【次期 中・長期環境目標】

容器検査部

平成22年度～平成24年度（2010/7-2013/6）

① 二酸化炭素排出量（目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
二酸化炭素排出量		445,592.0	423,312.4	401,032.8	378,753.2
kg-CO ₂ %		100.0	95.0	90.0	85.0
購入電力	消費量 kwh	186,493.0	177,168.4	167,843.7	158,519.1
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	70,494.4	66,969.7	63,445.0	59,920.2
0.378(kg-CO ₂ /kWh)		100.0	95.0	90.0	85.0
ガソリン	消費量 L	2,096.3	1,991.5	1,886.7	1,781.9
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	4,866.9	4,623.6	4,380.2	4,136.9
		100.0	95.0	90.0	85.0
軽油	消費量 L	22,218.0	21,107.1	19,996.2	18,885.3
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	58,307.5	55,392.1	52,476.7	49,561.3
		100.0	95.0	90.0	85.0
残ガス燃焼	燃焼量 kg	78,080.0	74,176.0	70,272.0	66,368.0
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	234,393.0	222,673.4	210,953.7	199,234.1
		100.0	95.0	90.0	85.0

② 廃棄物排出量（目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
単純焼却	t	6.55	1.3	1.2	1.2
	%	100.0	20.0	19.0	18.0
最終処分	t	29.11	10.2	9.5	8.7
	%	100.0	35.0	32.5	30.0

* 単純焼却の廃棄物は、塗料カス(産廃)有機溶剤塗装から粉体塗装に設備を変更(2009/9)したので、減少予定。

③ 総水使用量（目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
上水使用量	m ³	329.8	296.8	280.3	263.8
	%	100.0	90.0	85.0	80.0
地下水使用量	m ³	12,364.0	11,127.6	10,509.4	9,891.2
	%	100.0	90.0	85.0	80.0

* 化学物質・・・数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。

* グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【次期 中・長期環境目標】

工事部(社外作業)

平成22年度～平成24年度 (2010/7-2013/6)

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
二酸化炭素排出量		56,237.4	53,425.5	50,613.7	47,801.8
kg-CO ₂ %		100.0	95.0	90.0	85.0
購入電力	消費量 kwh	0.0	0.0	0.0	0.0
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	0.0	0.0	0.0	0.0
0.378(kg-CO ₂ /kWh)		100.0	95.0	90.0	85.0
ガソリン	消費量 L	5,455.6	5,182.8	4,910.0	4,637.3
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	12,666.0	12,032.7	11,399.4	10,766.1
		100.0	95.0	90.0	85.0
軽油	消費量 L	16,587.6	15,758.2	14,928.8	14,099.5
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	43,531.6	41,355.0	39,178.4	37,001.9
		100.0	95.0	90.0	85.0

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
単純焼却	t	2.06	2.0	1.9	1.8
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
最終処分	t	0.52	0.5	0.5	0.4
	%	100.0	95.0	90.0	85.0

- * 総水使用量…数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。
- * 化学物質…数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。
- * グリーン購入法…数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【次期 中・長期環境目標】

事務所

平成22年度～平成24年度（2010/7-2013/6）

① 二酸化炭素排出量（目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
二酸化炭素排出量		54,551.0	51,823.5	49,095.9	46,368.4
kg-CO ₂ %		100.0	95.0	90.0	85.0
購入電力 0.378(kg-CO ₂ /kWh)	消費量 kwh	1,769.0	1,680.6	1,592.1	1,503.7
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	668.7	635.3	601.8	568.4
		100.0	95.0	90.0	85.0
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg	2,021.8	1,920.7	1,819.6	1,718.5
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	6,069.3	5,765.8	5,462.4	5,158.9
		100.0	95.0	90.0	85.0

② 廃棄物排出量（目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
単純焼却 廃棄物	t	1.00	1.0	0.9	0.9
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
最終処分 廃棄物	t	0.00	0.0	0.0	0.0
	%	100.0	95.0	90.0	85.0

③ 総水使用量（目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
上水使用量	m ³	329.8	313.3	296.8	280.3
	%	100.0	95.0	90.0	85.0

* グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【 環境活動の取組計画 】

平成 22 年度

(2010/7-2011/6)

容器検査部

取 組 項 目			取 組 計 画												
①	電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	＊ 照明灯管理	工場	鈴木												
			松永												
	＊ 圧縮機の運転	工場	松永 ・ 鈴木												
	＊ 搬送コンベアー														
	＊ ショットブラスト														
	＊ 真空ポンプ														
	化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	＊ 運転計画の合理化	配送	村越	車両別集計											
	＊ エコ運転の実施 ・過積載禁止	配送	村越	車両別集計											
通勤時		村越	通勤経路 確認		安全運転コンクール				安全運転コンクール						
＊ 車輛整備		村越													
②	廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	＊ 排出量の削減	工場	松永		分別ポスター掲示										
	＊ 生産資材の節約	工場	松永					在庫確認						在庫確認	
	リサイクルの推進		松永		分別ポスター掲示										
	廃棄物処理の確認		村越		分別ポスター掲示										
③	総排水量の削減	工場	鈴木												
④	化学物質の適正管理	工場	松永												
⑤	グリーン購入品目の活用		松永		検討										

工事部（社外作業）

取 組 項 目			取 組 計 画												
①	電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	＊ 照明 電動機・電動工具	工事部	芳賀												
			小林												
	化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	＊ 運転計画の合理化	工事部	近藤	車両別集計											
	＊ エコ運転の実施 ・アイドリング抑制	工事部	芳賀												
			小林												
＊ 車輛整備	工事部	芳賀													
②	廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	＊ 排出量の削減	工事部	芳賀		分別ポスター掲示										
			小林		分別ポスター掲示										
	＊ 生産資材の節約	工事部	近藤				合同購入の検討		在庫確認					在庫確認	
	リサイクルの推進		芳賀		分別ポスター掲示										
	廃棄物処理の確認		近藤		分別ポスター掲示										
③	総排水量の削減	工事部	芳賀												
④	化学物質の適正管理	工事部	近藤												
⑤	グリーン購入品目の活用		近藤		検討										

事務所

取 組 項 目			取 組 計 画												
①	電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 空調 温度設定	事務所	向井	25度に設定・管理					21度に設定・管理						
	* 照明 (テレビ)	休憩室	鈴木	25度に設定・管理					21度に設定・管理						
		喫煙室	増田	25度に設定・管理					21度に設定・管理						
	化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* エコ運転の実施	事務	石田	車両別集計								安全運転コンクール			
	・アイドリング抑制	通勤時	村越	通勤経路 確認			安全運転コンクール								
②	廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 排出量の削減	事務所	向井		分別ポスター掲示										
	* 生産資材の節約	事務所	向井		エコ文具 検討				在庫確認					在庫確認	
	リサイクルの推進		山賀		分別ポスター掲示										
	廃棄物処理の確認		石田		分別ポスター掲示										
③	総排水量の削減		佐野		漏水点検			チェックシール掲示							
⑤	グリーン購入品目の活用		向井		エコ文具 検討										

【環境関連法規に係る遵守及び違反、訴訟等の状況】

当社に適用される環境関連法規への対応、遵守の状況は、次のとおりです。

法 規 名	要求事項と責任	備 考	遵 守
1 高圧ガス保安法	検査及び施工における技術基準	高圧ガス製造所	○
	保安検査	契約指定保安検査機関	○
2 消防法	危険物取り扱い	塗料保管	○
3 労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規則	塗装業務	○
	作業主任者、環境測定	業者委託	○
	健康診断	医療機関	○
4 水質汚濁防止法	油分離槽設置、水質基準	容器水圧検査	○
5 浄化槽法	浄化槽使用届け、保守点検	業者委託契約	○
6 廃棄物処理及び 清掃に関する法	廃棄物処理契約	業者委託契約	○
	マニフェスト管理、契約書	業者委託	○
	産業廃棄物収集運搬業の許可	産業廃棄物収集運搬	○
7 騒音規制法	特定施設の届出	コンプレッサ	○
	第2種区域の規制の遵守		
8 振動規制法	特定施設の届出	コンプレッサ	○
	第1種区域の2の規制の遵守		
9 悪臭防止法	敷地境界における規制基準 (E地域)	排水、受水槽	○
		油水分離層	
10 粉じん特定施設	ショットブラスト集塵機	容器錆落とし	○
11 静岡県地下水取 に関する条例	第6条第1項（第7条1項） 実績報告	揚水ポンプ	○
12 グリーン購入法	環境物品の購入（努力目標）	事務、工事資材	○

平成22年10月1日 確認

環境関連法規の確認

当社の事業における関連法規について以上のとおりです。

なお、関連法規に係る義務、責任等の対応処理のなかで、特に、苦情、違反及び訴訟等について過去3年間を確認しました結果、苦情、違反及び訴訟等の発生は無かったことを報告いたします。

【 代表者による評価と見直し 】

平成 20 年 4 月に認証受け、昨年 11 月に第 1 回目の更新審査を受けさせて頂きました。

昨年の更新審査の時点では、景気が後退し多くの労力を営業活動に振り向けた結果、営業車の燃料である LP ガスの使用量の大幅な増加がありましたが、この時点では営業努力をただけの売上の増加があり、企業体の性格上で裏付けのある増加と納得させて頂きました。

しかし、この不景気が新たな火種で 3 年も続くと営業努力だけでは、売上高に寄与出来なくなりました。

故に昨年は、全て車両燃料の増加となり、工場操業率の低下による使用電力の増加と合わせ、審査を重ねる度に目標達成の難しさを実感しております。

しかし、社員一丸となり取り組みそして管理した、事務所窓部の緑葉に遮蔽措置に見られるように『エコアクション 2.1』に取り組む強い意思表示が感じられるようになり、この意識を育みさらに次年度への目標達成の礎といたします。

昨年度の実績評価

1. 塗装設備を溶剤塗料から粉体塗装設備に更新し、有機溶剤から人体の影響を皆無にし産業廃物（塗料カス）の搬出をほぼ 0 にした。
2. 避難訓練の一環に公害による訓練を実行した。
3. 事務所及び休憩室窓部の緑葉に遮蔽措置をし、今年の猛暑に対して使用電力の低下を見る。
4. LP ガス熱源による、エネファームを設置し電灯電力使用量を抑え、台所、手洗う温水はこの設備から賄うことにした。
5. 倉庫・車庫の天井の一部を透明化し、日中の電灯の使用をなくし、電力を削減した。
6. グリーン購入法を意識し、グリーン商品の購入に努めた。

是正措置（昨年度の見直し）

1. 操業率低下による、検査設備の待機運転の禁止。
2. 残業時間が延長している傾向にあり、適正人員を補填し、事務所の光熱費の低減を図る。

以上です。

平成 22 年 10 月 1 日

不二高压株式会社

代表取締役社長 新井 二郎